

効果概要: 令和4年台風第14号においては、平成11年台風第18号と同様に最大風速が30m/sを超える激しい暴風に見舞われ、さらに台風接近が平成11年台風第18号と同様に大潮の時期と重なっていた場合、潮位も同等になっていたと推定されるが、3か年緊急対策及び5か年加速化対策を活用した直轄海岸整備により、高潮被害を防止した。

府省庁名: 国土交通省

■ 実施主体:

国土交通省九州地方整備局

■ 対策の概要: 護岸の改良

(嵩上げ、被覆石設置、水叩き整備等)

■ 総事業費: 約260億円

(うち3か年緊急対策 : 約11億円)

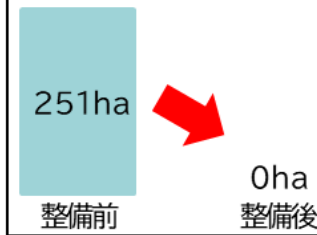
(うち5か年加速化対策: 約29億円)



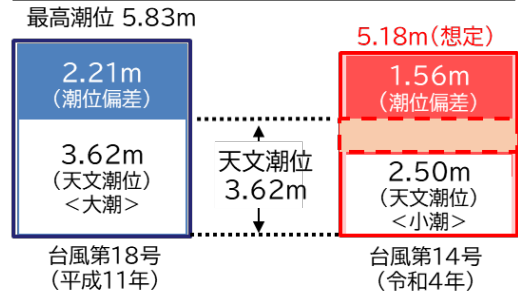
対策後

発現効果

【下関港海岸の浸水面積】

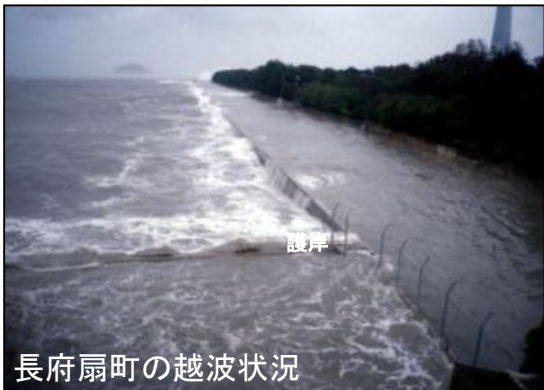


令和4年台風第14号の接近が平成11年台風第18号と同様に大潮の時期の場合の想定

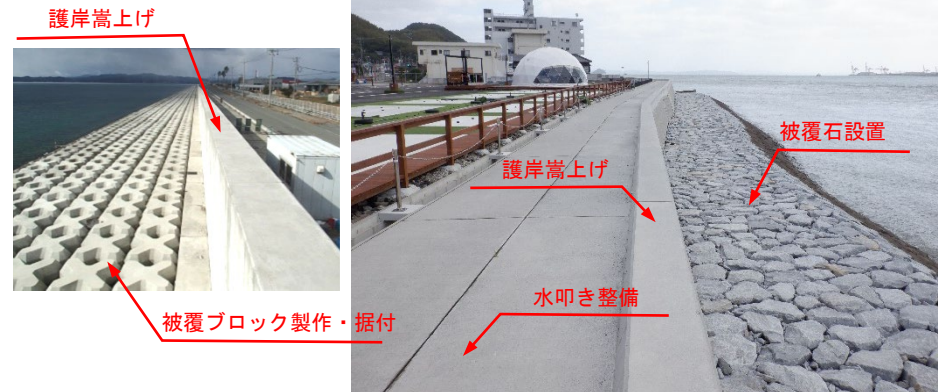


平成11年台風第18号と同等の潮位となっていたおそれ

対策前



広範囲にわたり高波・高潮による越波・越流が発生し、浸水被害等が発生 (平成11年台風第18号)



護岸の整備により、台風第14号の高潮による背後地の浸水被害を未然に防止